

# Library Navigator

立命館大学 図書館だより  
ライブラリーナビゲーター

ISSN 1345-3343

Vol. 133  
Spring/Summer  
2024



図書館イメージキャラクター：よむりす

[Message]

## 図書館館長からのメッセージ

小久保 みどり

立命館大学図書館館長 経営学部教授

[特集]

## 大学図書館は 知の宝庫

[連載企画] 図書館の使い方がうまい人 第6回

図書館は自分の知らない世界と出合う場所。  
自分を超越る思考を身につけよう。  
矢藤 優子（総合心理学部 教授）



RITSUMEIKAN  
UNIVERSITY

# 図書館館長からのメッセージ

小久保 みどり  
図書館館長 経営学部教授



小久保 みどり／経営学部教授。2019年から2023年まで経営学部長・経営学研究科長、2023年度より図書館長を務める。専門は社会心理学、組織心理学。不確実な状況下でのリーダーシップ行動、非正規従業員の雇用環境と働き方や、若者の職業選択のジェンダー差などについて実証的に研究してきた。最近、緊急事態におけるリーダーシップと組織の対応、ジェンダーとリーダーシップについて研究を進めている。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。立命館大学へようこそ。

そして在学生の皆さん、新学期を迎え、勉学、課外活動等に実り多き一年となりますよう期待しております。

さて、立命館大学には各キャンパスにすばらしい図書館があります。デジタル化が進んだ現在、図書館の重要性はますます大きくなっています。図書館は今や、目に見える書籍という紙ベースのものだけでなく、データベース化された情報を提供する重要な拠点でもあります。図書館という場所へ足を運ばなくても、あらゆるところから図書館とつながる事ができます。私自身、研究のために文献を探す時には、研究室や自宅から図書館のデータベースを検索し、必要な情報や資料を手にいれています。また、教室から図書館のデータベースにアクセスして、授業中に活用したりもしています。このように図書館に足を運ばなくても、図書館を十分に活用できますが、ぜひ実際に図書館へいらしてください。図書館に行くということは、わくわくすることです。図書館へ足を踏み入れると、場の力を感じます。先人が残したその膨大な知の集積に物理的にも圧倒され、厳かで謙虚な気持ちになります。学問の重みをひしひしと感じます。その感覚が学びの原動力になると確信しています。また、立命館大学の各キャンパスの図書館では、意見交換や議論が可能なラーニング・コモンズ（ぴあら）と呼ばれる開放的な空間を設けています。立命館大学図書館が、皆さんの学習・研究活動のホームグラウンドとして活用され、皆さんの伸びやかな学びを促し、数々の知的発見につながることを願っています。そして何よりも、存分に図書館を楽しんでください。



# 大学図書館は 知の宝庫

Introduction to the Library

「100年前の世界の暮らしがどんなものであったのか」を知りたいとき、みなさんはどう調べますか？SNSの中を探したり、インターネットで検索エンジンにキーワードを入力したりすれば、それらしい情報はヒットしてくると思います。しかし、それは正確な情報でしょうか？  
大学で学び研究する上で重要な姿勢は、無数にある情報から自らの考えを裏付ける資料を見つけ出し、活用することです。

▶ [RIS情報検索](#)

豊かな学びを支える知の宝庫である大学図書館。立命館大学図書館の特徴やサービス内容を知り、みなさんの学びや研究をゆるぎないものに仕上げる過程で、うまく活用してください！情報が手軽に入る時代だからこそ、見極める行動が求められます。

▶ [フェイクニュースの見分け方](#)

立命館大学には、合計7つの図書館（平井嘉一郎記念図書館、学修館リサーチライブラリー、人文系文献資料室、メディアセンター、メディアライブラリー、OICライブラリー、朱雀リサーチライブラリー）があり、年間のべ120万人以上が来館し、研究や学修に活用しています。  
ここでは大学図書館の4つの特徴と、主に学部学生の方がよく使う図書館4館のおすすめスポットをご紹介します。

特徴その **1** 世界中の叢智に触れられる 約346万冊の図書資料と 100を超えるデータベース

本学図書館は約346万冊の図書資料を収蔵しています。この数は、私立大学の中では全国4位（西日本1位）の冊数です。加えて、雑誌論文や新聞記事の検索、辞書・事典、他にも専門分野別など100を超えるデータベースが利用できます。データベースに収録されている情報は信頼性が高いことが特徴です。図書館ホームページの「[データベース](#)」のタブを選択し、どのようなデータベースがあるか見てみましょう。

また、キャンパス外からでも、VPN接続や学認を通して、データベースにアクセス可能です。

▶ [VPN接続](#)



特徴その **2** 困ったときはまず相談してみよう！ 調査のプロフェッショナル 「レファレンス・ライブラリアン」

みなさんは、レファレンス・サービスという言葉を知っていますか？自分のリサーチクエスチョンを明らかにしていく際に必要となる「先行研究調査」「参考文献検索」といった作業をサポートしてくれるサービスです。

先行研究調査や参考文献検索は地道で時間を要する作業です。あと一歩のところ、どうしても最後の扉が見つからない時、学修者とともに調査のサポートを担うのが、「レファレンス・ライブラリアン」です。ぜひ活用してください。

▶ [密着レポート／調査のスペシャリスト集団「レファレンス・ライブラリアン」を辿る！](#)

オンラインでも相談可能です！

▶ [Ask a Librarian](#)



特徴その **3** 調べる、考える、話し合う 日本最大級の閲覧席数と ラーニングcommons

本学図書館のうち4館（平井嘉一郎記念図書館、メディアセンター、メディアライブラリー、OICライブラリー）の閲覧席は合わせて5,039席で、この席数は日本の大学図書館でも日本最大級を誇ります。

小集団授業などでグループ課題が出たときは、プレゼンテーションにむけてメンバーで話し合いながら作業できる、ラーニングcommons「びあら」も4館に設置しています。ラーニングcommonsはキャンパス内各所にも設置されていますが、図書館内のラーニングcommonsでは各種図書資料をすぐ利用できること、ライブラリアンやライブラリースタッフにすぐ相談できる環境にあるという学修面での利点が大きいです。



特徴その **4** 学生スタッフがみなさんをサポート ピアサポーター “学生ライブラリースタッフ”

膨大な蔵書の中から自分が探している1冊をうまく見つけれないときは、館内で活動している「学生ライブラリースタッフ」にぜひお声がけください。みなさんと同じ学部学生、大学院学生ですが、図書館をよく知っている身近な存在です。探し方をお伝えするなど、図書館利用をサポートします。



## 各キャンパスおすすめスポット

### 平井嘉一郎記念図書館（衣笠キャンパス）

図書館開設までの業績を辿る

#### 平井嘉一郎 メモリアルルーム

本学の卒業生である故・平井嘉一郎氏のご遺志を引き継がれたご令室・平井信子様より寄贈を受け、2016年に衣笠キャンパスの新たな図書館として平井嘉一郎記念図書館が開設しました。図書館3階の平井嘉一郎メモリアルルームには氏の愛用品やゆかりの資料などを数多く展示しています。



ウォークスルー貸出の手続き

#### KASIDUSゲート

平井嘉一郎記念図書館の退館ゲートに設置された「KASIDUSゲート」は学生証をかざすことで、ウォークスルー貸出の手続きが行えます。図書資料を鞆に入れた状態でも貸出が可能ですので、時間に余裕のない時などもスムーズに貸出ができます。



### メディアセンター（びわこ・くさつキャンパス）

高級感溢れる空間で学びを

#### 1階ライフサイエンス アカデミックラウンジ

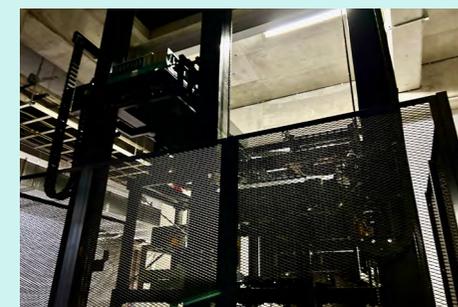
1階ライフサイエンスアカデミックラウンジは、ホテルのような高級感溢れる空間の閲覧室です。書架には新書、地方紙や海外の新聞を取り揃えており、学生から教員まで大変人気のある場所となっています。タッチ式の大型ディスプレイでは、世界の新聞や雑誌をオンラインで閲覧できる Press Reader が利用できるため、いつでも世界の情報にアクセスできます。



35万冊収容可能な自動書庫

#### 地下1階自動書庫

地下には35万冊収容可能な自動書庫が設置されています。館内の蔵書検索端末から操作して1階のカウンターに自動で運出すことができます。膨大な図書資料を効率的に保管し、利用者が求めた情報を迅速に、的確に提供できるようになっています。



地下に設置されているため、見ることはできません

### メディアライブラリー（びわこ・くさつキャンパス）

快適な空間で学修を

#### 3階多目的閲覧室

メディアライブラリーでは2階から6階までの各階に閲覧席を設けていますが、中でも3階の多目的閲覧室には様々なタイプの机・椅子を揃えています。また、全席に電源コンセントがあり学内無線LANにアクセスすることもできる自習専用施設のため、日頃から学生にとっても人気がある空間です。



映像から知識を深めてみませんか？

#### 3階AV視聴コーナー

メディアライブラリー3階のHIROBA（パソコンルーム）内には、DVDなど多数の映像資料を視聴できるコーナーがあります。学修に役立つ資料を所蔵しています。



### OICライブラリー（大阪いばらきキャンパス）

青空のもと読書を

#### ガーデンライブラリー

OICライブラリー5階屋上には「ガーデンライブラリー」があります。年に数回、期間限定で開放し、利用者に読書を楽しんでもらうイベントを開催しています。図書館内とはまた一味違う屋外空間での読書時間は、気分転換に最適です。



知識が広がる空間

#### 文庫・新書コーナー／AVコーナー

2024年4月、映像学部・情報理工学部のOIC移転に伴い書架を増設して、多くの図書資料もOICへ移設しました。文庫・新書コーナーは古典や小説、エッセイ（文庫）はじめ、特定分野の入門書、解説（新書）まで、幅広く取り揃えています。

AVコーナーには映画のDVDが大幅に増加します。様々な分野に触れて、あなたの興味や関心を広げてみませんか。



# 図書館は自分の知らない世界と出会う場所。 自分を超越る思考を身につけよう。



## 矢藤 優子

総合心理学部 教授  
RARAアソシエイトフェロー RARA

レポートや論文のために情報収集する時、自分の関心のあるものや手に入れやすいものだけを集めていませんか。それでは世界を広げることはできません。今回は総合心理学部の矢藤優子先生に、研究における情報収集の方法や自分で調べる大切さ、さらに本との出会いがいかに人生を豊かにするかについてお話いただきました。

研究テーマ	子どもの発達に関する経時的研究、行動観察に基づく乳幼児と養育者の社会的関係性の研究、行動計測機器を用いた乳幼児の行動発達研究
専門分野	国教育心理学（キーワード：比較発達心理学）
著書	現代中国の子育てと教育—発達心理学から見た課題と未来展望（共著）ナカニシヤ出版（2023年） 児童心理学・発達科学ハンドブック第3巻 社会情動の過程 6章「関係性、制御、そして初期発達」（共著）福村出版（2022年） 『インクルーシブ社会研究』第17号 対人援助の新展開—理論・方法・制度の視点から—（共編者）立命館大学人間科学研究所（2017年） 「心理学スタンダード」II 時間の中の人間発達 4章「子ども・青年期」（共著）ミネルヴァ書房（2014年） 0歳～1.2歳児の発達と学び～保幼小の連携と接続に向けて～ 第2章 乳児期の子どもの発達と学び 2節 社会性（共著）北大路書房（2013年）

### ● 読書、実験、好きなことが仕事になった

小学生の頃から本が好きで、よく読んでいました。とりわけ好きなだけ本を読める図書館は、私にとってはパラダイスでした。一方で実験したり、装置を作ったりするのも好きでした。マイケル・ファラデーの『ロウソクの科学』を読んで、自分でも真似してロウソクを削って実験したことを覚えています。夏休みの自由研究はもう大張り切りで、7月中に他の宿題を終わらせ、8月は好きな研究に没頭していました。こんな風に本を読んだり、実験したり、わからないことを調べたり、「自由研究みたいな仕事があればいいな」と思っていたので、今研究者になって、まさに望んだ通りの仕事に就いたと思っています。

### ● 科学的根拠に基づく子育て支援のあり方を探求

研究との出会いは、大学時代です。比較行動学という学問分野の研究室で、ノホンザルやヒトを対象に、親子関係や仲間関係、赤ちゃんの発達等についておもに行動観察法を用いて研究していました。養育行動は、種の保存において非常に重要な行為です。そこからヒトの子どもの発達や養育行動に関心が広がっていきました。現在は主に乳幼児の発達について、養育者や家族、地域、文化といった周囲の環境との関わりに重点を置いて研究しています。2016

年から現在まで、大阪いばらきキャンパスを拠点に、「いばらきコホート」と称し、科学的根拠に基づく子育て支援のあり方について長期縦断研究を続けています。妊娠期（胎児期）から出生を経て、就学前（幼児期）までの母親と子どもの社会的関係に影響を与える社会的・物理的な環境要因を、行動観察や質問紙、面接などさまざまな手法を使って継続的に調査しています。これまで親子の社会的関係性について客観的指標に基づいた縦断研究はあまりなされてきませんでした。本研究プロジェクトでは、定量的・定性的データを集め、科学的根拠に基づいて、健やかな子どもの発達に必要な環境や子育て支援のあり方を提示しようとしています。

### ● 自分の関心以外の情報から世界が広がる

研究にあたっては、さまざまなツールを使って幅広く情報収集することを心がけています。大学の図書館はもちろん、現在ではインターネットでも文献や論文を読むことができるので、オンラインのデータベースもよく活用しています。オンラインを使った情報収集は簡単ですが、オンラインでは読めない文献や論文もあります。学生によく言っているのが、「オンラインで入手できないから」という理由で、簡単に諦めないことです。自分の研究の参考になると思ったら、どんなに手間がかかっても、必ず原本を取り寄せるようにしてい

ます。

また、研究テーマである「子育て」に関わる時事問題や政策はどんどん変わるので、新聞も非常に重要な情報収集ツールです。キーワード検索できる新聞記事のデータベースは便利ですが、私は必ず「紙」の新聞を読むようにしています。自分で選んだキーワードを検索して見つかった情報だけを読んでいたら、自分の関心以外に世界は広がりません。新聞を1ページずつめくって、ヘッドラインだけでも目を通すと、自分が興味を持っていなかった事柄も目に入ってきます。そうした思いがけない情報が、新たな視点や気づきをもち、研究をより深めることにつながります。

### 学生へのアドバイス

#### ● 原典へのリスペクトが大切

教科書に載っている情報や引用文献を「孫引き」して自分の論文に引用しようとする学生がいます。教科書に書いてあることは、あくまでその著者の解釈でしかありません。「原典（元になっている著作物）にリスペクトを持って、必ず自分で原典を確認しなさい」と指導しています。

これは研究への取り組み方にも通じるところがあります。学生によく言うのが、「現象に学びなさい」ということ。例えば先行研究や既存の論文を元に仮説を立て、調査結果がそれと同じにならないければ、「失敗した」と思うかもしれませんが。でも行動観察や実験で何より重要なのは、目の前で起こっていることを真摯に観察し、そこから何が抽出されるのかを考えることです。もし仮説と同じ結果にならなかったとしたら、そこには必ず理由があるはず。だからその意味を考えてほしい。信頼性・妥当性の高いデータを取ってれば、データが自ずからその理由を語り出します。そこにこそ新しい発見があります。

### 図書館の使い方について

#### ● 図書館は自分の知らない世界と出会う場所

自分の興味のあるものや理解できる範疇しか受け入れられなかったら、研究も面白くありません。知らないことにどんどん出かけて、自分の理解の範囲を超えていこうとする思考を身につけてほしい。目的がなくても図書館に行つて、たださまようだけでも良いと

思います。背表紙を眺めるだけで、「こんなことが専門になって、こんな本が書けるのか」「こんなマニアックな世界があるのか」と発見があります。ぜひ図書館で、自分の知らない世界に出合ってほしいと思います。

### 新入生へのメッセージ

#### ● 多角的な見方が人生を豊かにする

本や新聞を読むことは、多角的な見方・視点を養うことです。同じ世界でも、それを多面的に見ることができたら、一つの見方に縛られるよりもずっと豊かに生きられると思いませんか。例えば子育てをしていて、子どもがご飯を食べてくれない時、「この子は私のことが嫌いなんだ」「私の作ったご飯がおいしくないからだ」と、限られた原因にしか目を向けられないと、きっと苦しいでしょう。そんな時、多様な視点で物事を解釈できたら、心安らかにいられるはずです。

本との出会いは一生もの。さまざまな本を読んで世界を広げ、多角的な見方を培ってください。それが、生涯にわたる糧になるはずです。



#### 矢藤先生の一日

4:30~5:00	起床、メールチェック等軽い仕事
6:00~8:00	子どもとの時間 (朝ごはん、子ども送り出し、家事)
8:00~9:00	なにかしながらなにかする時間 洗濯しながら申請書の構成を考えたり・血洗いしながら資料を読んだり、思いついたらPCに向かう時間
9:00~10:00	オンラインミーティング(研究所の仕事)
10:00~11:00	なにかしながらなにかする時間
11:00~	大学へ出勤; 研究と教育活動
17:00	帰宅
18:00~20:00	子どもとの時間(晩御飯、家事)
21:00~22:00	お風呂(にやりながら、国際学会でのスピーチの練習、思索の時間、お風呂掃除)
22:00~23:00	読書時間。日本経済新聞夕刊には目を通し、子どもとの読書を通した対話が日課。
24:00	就寝